

研究協力をお願い

琉球大学医学部附属病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本研究は琉球大学の人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へご連絡ください。

登録データベースからは削除いたします。ただし、すでに研究成果を公表したデータの削除はできかねますので、あらかじめご了承ください。

研究には参加されなくても何ら不利益が生じることはありません。

研究の名称 思春期・若年がん患者等を対象とした日本がん・生殖医療登録システムによる治療成績解析
1. 研究の対象となるかた 琉球大学医学部附属病院で、2001年1月1日から2021年3月24日までに妊孕性温存カウンセリング、または妊孕性温存治療を受けたかた <small>にんようせいおんぞん</small> ※妊孕性温存とは未受精卵子・受精卵・卵巣組織・精子・精巣組織の凍結保存のことです。
2. 研究期間 倫理委員会承認日から2021年3月31日まで
3. 研究目的・方法 治療のために将来子どもを持ちにくくなる可能性があるがん患者さん等に対して、精子・卵子の凍結などを行う医療体制の実態をつかみ、10-20年以上の長期間にわたってがんや妊娠の成績を追跡・解析し、医療体制のさらなる向上に結びつくよう、患者さんのデータベースを作成していくことが目的です。 このデータベース作成のために、日本がん・生殖医療学会が中心となり、全国の関連施設などが協力して、データ集計することとなりました。提供されたデータを毎年集計解析し、有用な解析結果をホームページ等で公表して、全国のがん患者さんや治療施設が利用できるようにします。
4. 研究に用いる情報の種類 1) カルテから以下の情報を入手させていただきます。 ・生年月日（他のデータベースとのデータ連携に必要なため。氏名、住所、電話番号などは提供されません） ・精子・卵子凍結などの治療内容、あなたの病気の状態、精子や月経の有無、子どもの有無や妊娠・出産経過など 2) 患者さんが当院を受診している期間は、病気や生殖機能などの最新のデータを年1回更新します。

5. 外部への情報の提供

研究に用いる情報は、パスワードで保護されたオンライン登録システム（日本がん・生殖医療登録システム、JOFR）に入力し、他の施設と情報を合わせて集計データを解析していきます。患者さんのデータは個人を特定できない状態にしてオンライン入力します。

6. 情報の使用方法

集計した情報をもとにデータベースを作成し、この研究に参加している施設のデータを統合し、日本におけるがん・生殖医療提供体制や治療成績などを解析します。更に、登録されたデータに関する二次調査を行ったり、日本乳癌学会や日本小児血液・がん学会などによる臓器別がん登録情報からデータの提供を受けてデータ連携したりすることによって、がんの種類、進行期、治療内容ごとの治療成績（病気の状態や子どもの有無など）を詳細に解析します。

7. 研究組織

この研究は、埼玉医科大学総合医療センター・高井泰が統括研究代表者を務める多施設共同研究で特定非営利活動法人日本がん・生殖医療学会 (<http://www.j-sfp.org>) が研究活動の母体となって行います。日本全国でこの共同研究に参加する予定の施設は 131 施設（2019 年 8 月末時点）で、参加する施設の名称と各実施責任者の氏名一覧を日本がん・生殖医療学会のホームページ (<http://www.j-sfp.org>) に掲載します。

8. お問い合わせ先

<当院の研究代表者>

琉球大学医学部附属病院 産科婦人科 教授 青木陽一

〒903-0215 沖縄県西原町上原 207 番地

電話 098-895-1177 FAX 098-895-1426

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

琉球大学医学部附属病院 周産母子センター 医師 銘苺桂子

〒903-0215 沖縄県西原町上原 207 番地

電話 098-895-3331（産科婦人科外来 内線 1312）

医局 098-895-1177 FAX 098-895-1426